

平成23年度全国大会研究討論会
土木分野におけるNPO活動と土木学会の役割

土木分野のNPO活動の実態と
学会支援のNPO中間支援組織について

2011. 09. 09

教育企画・人材育成委員会
成熟したシビルエンジニア活性化小委員会

NPO法人調査WG 有岡正樹

建設系NPO法人に関する調査研究の経緯

平成 20年度調査研究活動

1. アンケート調査と結果の分析
(1)担当分野の詳細、(2)法人運営の実態、(3)土木技術者の関与
 2. インタビュー実施結果
(1)NPO事業のプロセス、(2)マネジメント要因、(3)建設系NPOへの土木学会支援
- 【成果】20年度研究成果報告書および第1回土木学会成熟しビルシンポジウム

平成 21年度調査研究活動

1. NPO法人の連携に関する現況調査
(1)建設系NPO法人の連携、(2)行政・大学・産業界とNPO法人連携
 2. アンケート調査結果とその考察
(1)建設系NPO法人連携と協働の実態、(2)今後の連携のあり方
- 【成果】21年度研究成果報告書および第2回土木学会成熟しビルシンポジウム

平成 22年度調査研究活動

- I. 建設系NPO法人活動の現況と連携に関する調査研究
(1)これまでの活動総括、(2)中間支援組織設立必要性の理事会提言に向けて
- 【成果】22年度研究成果報告書
- II. 建設系NPO法人中間支援組織設立準備小委員会
(1)中間支援組織設立構想の背景と経緯、(2)中間支援組織設立構想検討の成果
- 【成果】平成23年度全国大会研究討論会

事業収支状況と諸要因との関係
(第1回アンケート調査)

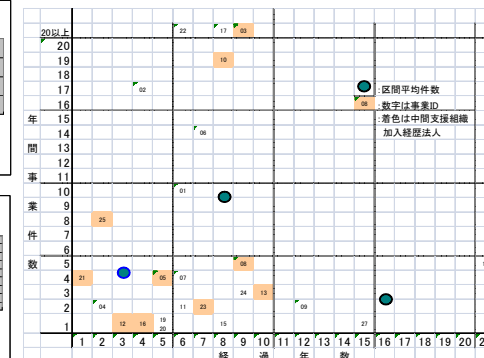
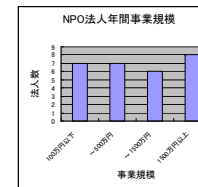
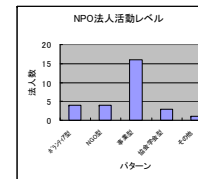
事業タイプ

運営のタイプ	法人数	平均土木比率	平均事業費	経営状況 厳しい	収入内訳			支出内訳			一人当 入金
					年会費	受託	助成等	報酬	外注	イベント 経費	
NGO的	8	58%	506万円	50%	45%	43%	6%	6%	19%	73%	5万円
事業的	7	66%	630万円	57%	30%	43%	23%	27%	32%	40%	19万円
ボランティア的	9	66%	890万円	33%	28%	45%	25%	11%	21%	65%	18万円

事業規模

事業規模	法人数	平均事業費	平均土木比率	経営状況 厳しい	収入内訳			支出内訳			一人当 入金
					年会費	受託	助成等	報酬	外注	イベント 経費	
500万未満	13	183万円	65%	46%	55%	25%	3%	12%	15%	71%	2万円
500万以上	11	1,280万円	68%	45%	9%	66%	19%	16%	34%	48%	38万円

経過年数と年間事業件数
(第2回アンケート調査)



まとめに代えて(4つの論点整理)

1. 成熟したシビルエンジニアの関与

【建設系NPOは、成熟したシビルエンジニアがその担い手となりうるのか？】

現役時代の知識・経験をベースに、シニアと若手・中堅との協働が重要。

2. 「新しい公共」の視点での期待感

【「新しい公共」の視点で建設系NPO法人への期待感はあるのか？】

「支え合いと活気のある社会」を作るための当事者の「協働の場」である。

3. 建設系NPOの連携(協働とネットワーク化)

【建設系NPOの連携のパターンは、それを担う組織は？】

- ・協働：最小公倍数的な効果を期待。プロジェクトベースの連携。
- ・ネットワーク型：各NPO法人が抱える最大公約数部分の課題解決が目的。

4. 土木学会の役割

【土木学会に期待される役割は何なのか？】

「新しい公共」の時代という視点で、土木学会が技術者の存在感、達成感の受け皿としてNPOを認知し、中立的な立場でバックアップが必要。

5

NPO法人連携の実態

連携・ネットワーク化のパターン		NPO全般(シビル以外)	NPOシビル系
NPO組織間の連携	行政	新しい公(行政との協働)の切り口(総論)	シビルNPO連絡会議
NPO外組織との連携	大学	社学連携の切り口(総論) NPOサポートセンター (学を中心に官・民と)	高知工科大学
	企業	CSR的切り口(総論)	
	学会・協会		
	国際組織		
	複合連携	地域創造ネットワークジャパン (NPO・公益法人・労働団体等)	
中間支援組織	NPO法人	NPOネットよしかわ 地域ネットワーク	
		NPO事業サポートセンター	
	行政・協会	内閣府「中間支援組織の今後の方向性」	
組合組織的ネットワーク	行政 地域	地域ネットワークちば	
		地域ネットワーク(都道府県協議会)	
	地域 全国	地域創造ネットワークジャパン (ナショナルネットワーク化)	
		日本NPOセンター	
		NPOサポートセンター(全国連絡会)	
事業 分野			
学会		日本NPO学会	土木学会建設学委員会

注) 太字は有関が2009.8.20にインタビュー

6

平成22年11月19日

— 提言 —

『土木学会による建設系NPO中間支援組織の立上げと支援』

教育企画・人材育成委員会
成熟したシビルエンジニア活性化小委員会

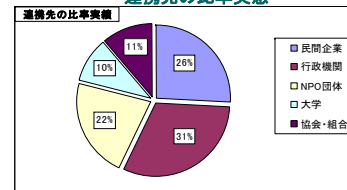
1. 土木学会は、新しい公共とその主要な担い手であるNPOの活動を重要なものとして位置付け、それを広くアピールすると共にその活動の一翼を担う。

2. そのため、土木学会が主体となって建設系NPO中間支援組織の立ち上げを行うと共に立ち上がった中間支援組織に対して、学会研究成果の情報提供や費用、施設等の物理的な支援を含めて、広範なバックアップを行う。
なお、ここで言う中間支援組織の活動、業務は以下のものを想定している。

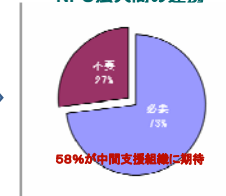
- 1) NPOの活性化、発展に必要な世論形成、制度化、立法化のためのロビー活動などの戦略的、長期的な取組みを行う。
- 2) 新しい公共の動向や、NPO法人の情報を収集し、広く社会・関係者に発信する。
- 3) 事業を受託し、地域別、事業分野別、テーマ別等に最適な登録NPO法人と協働体制を作り、受託業務を推進する。
- 4) 登録NPO法人の質の維持・向上に資する取組みを行う。
- 5) 登録NPO法人に対するNPO法人間の連携、大学・企業・行政との協力拡大等の各種の支援を行う。

連携の実態と今後の方向性 (第2回アンケート調査)

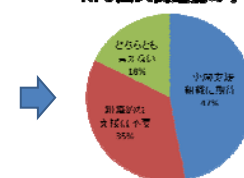
連携先の比率実態



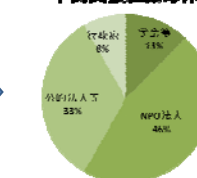
NPO法人間の連携



NPO法人間連携の手数



中間支援組織母体



8

収支計算表(試算)

		初年度 (H23.6~)		2年度 (H24年度)		3年度 (H25年度)		定常時	備考
会員数 ()内累計	NPO法人	20	40	(60)	20	(80)	20	(100)	入会金20-30、年会費20-30
	企業	20	10	(30)	10	(40)	10	(50)	50 50
	個人	10	10	(20)	10	(30)	10	(40)	10 10
	行政	0	0	0	10	(10)	30	(40)	0 20
資本 ()内 累計	収入	1,500	1,400	(2,900)	1,000	(3,900)	1,200	(5,100)	
	寄付金	500	300	(800)	200	(1,000)	200	(1,200)	
	小計	2,000	1,700	(3,700)	1,200	(4,900)	1,400	(6,300)	
	支出	1,300	600		600		2,000		ITシステム、備品
差引き	700	1,800		2,400		1,800		繰越し基金(事務所準備)	
経常	収入	1,500	2,900	4,100	6,500				
	会費	1,500	2,900	4,100	6,500				
	サービス事業	0	100	200	700				データ登録・管理費
	ビジネス事業	0	1,100	2,200	4,000				マネジメント、調整等 比率10~20%
	小計	1,500	4,100	6,500	11,200				
	支出	1,670	2,840	3,500	8,360				人件費、通信・IT費、 会議費、交通費、印刷費
	サービス事業	0	0	0	0				人件費に含む
	ビジネス事業	0	550	1,100	2,000				原価率50%
	雑費	0	0	0	280				収入の2.5%
	土木学会	0	0	0	560				収入の5%
小計	1,670	3,390	4,600	11,200					
差引き	-170	540	1,900	0					

中間支援組織に関するアンケート結果

送付法人数 : 141法人
 受信法人数 : 125法人 (16法人不通 : 11%)
 回答法人数 : 41法人
 アンケート主旨有効法人数 : 36法人 (5法人は非建設系)

種別	単位	法人数	内関東	(1)必要・好しい	(2)参加希望	(3)委員会参加	(4)メール意見
中間支援 組織参加	法人数	29	18	29	29	9	29
	(比率%)	(100)	(62)	(100)	(100)	(31)	(100)
中間支援 組織不参加	法人数	7	3	5	0	1	8
	(比率%)	(100)	(43)	(71)	(0)	(14)	(101)
計	法人数	36	21	34	29	10	36
	(比率%)	(100)	(58)	(94)	(81)	(39)	(100)

土木学会と中間支援組織とのWin-Win関係

Win-Win	土木学会 → 中間支援組織	中間支援組織 → 土木学会
質的	学会組織が持つ客観性、中立性、信頼性の担保	土木学会の社会貢献及び土木技術者の活動に対する社会的評価
量的	土木学会の施設使用・人的支援	土木学会会員としての存在感と達成感(会員継続インセンティブ)

「建設系NPO中間支援組織と土木学会の役割」

- ① 背景
 - ・建設系NPO組織活動の沈滞化
(制度・システムの未成熟、連携・ネットワーク化の遅れ)
- ② 視点
 - ・シニアエンジニアの存在感(よりマクロの「善」)
 - ・少子高齢化社会でのシニアエンジニアの役割分担再編
 - ・「新しい公共」の触媒的役割(土木学会CSR)
- ③ 提言化のプロセス
 - 【第1ステップ】
・「連携の具体像：中間支援組織」のシナリオ化と提言
 - 【第2ステップ】
・設立準備会を事務局に現存NPO法人による連絡協議会を立ち上げ、
実地的な運用の仕組みを検討
・建設系NPO法人登録(最低50法人を目標)を具体化
- ④ いくつかの論点
 - ・現存NPO法人組織(とくに鋭意活動中の)の必要性認識
 - ・脱孤立化のための連携(学会内部、他分野組織、国際組織等)
 - ・学会支援(資金・人・情報・組織、監査・モニタリング)